慶應義塾大学 2021

薬学部(2月10日 実施)

化学

1.

[1]

問 1 (ア) 黄(色) (イ) アンモニアソーダ法 (ウ) 複塩

問 2 (A) NaHCO $_3$ (B) CaCO $_3$ (C) Al_2O_3 (D) $Al_2(SO_4)_3$ (E) K_2SO_4

問3 表面に、酸素との反応で生じた酸化皮膜があり、これは水に溶けないため。

問 4 NaCL + NH₃ + CO₂ + H₂O → NH₄Cl + NaHCO₃

問 5 : 〇:: 〇: ※画像は「おうちで学ぶ化学」より。

問 6 4, 5

問7 (a) $2AL + 6HCI \rightarrow 2AICI_3 + 3H_2$

(b) $2AI + 2NaOH + 6H_2O \rightarrow 2Na[AI(OH)_4] + 3H_2$

[II]

問8 (工) 自由電子 (オ) 体心立方格子 (カ) 非晶質

問9 展性

問 10 (1)(2) 08 (3)(4) 12 (5) 4 (6)(7)(8)(9) 1.0×10^{-22}

問11 3

問 12 (11)(12)(13)(14) 1.3×10⁻¹⁰

問 13 一定の融点をもたない(他の例:融点がなくガラス転移温度がある)

問 14 SiO。



2.

[I]

問2
$$[H^+] = \frac{[CH_3COOH]K_a}{[CH_3COO^-]}$$

問3 50(%)

問4 4

[II]

問 5 (22) 3 (24) 2

問 6 水でぬれていても、中に入る酸の物質量は変わらないため。

問7 HClaq + NaOHaq = NaClaq + H2O(液) + 56 kJ

問8 フェノールフタレイン

問9 (24)(25)(26) 1.0×10^{-1} (27)(28)(29) 5.0×10^{-2} (30)(31) 1.0 (32)(33) 3.1 (34)(35) 4.6

問 10 [ウ] $[OH^-] = \sqrt{cK_h}$ [エ] $K_h = \frac{K_W}{K_A}$

問 11 8.4



問 1 (38)(39)(40) 3.4×10⁵

問 2 $2C_2H_6 + 7O_2 \rightarrow 4CO_2 + 6H_2O$

問3 1.00 – 2x – 3.5y [mol]

問 4 (41)(42)(43) 2.4×10⁻¹

問5 凝縮

問 6 (44)(45)(46) 1.3×10⁵

問7 (47)(48)(49) 7.8×10⁻¹

4.

問 1 (50)(51)(52) 282

問2 D テレフタル酸 E エチレング<u>リ</u>コール F <u>アセトン</u>

問3

I
$$C = C$$
 $CH - CH_3$
 CH_3

問 4 (53)(54)(55)(56) 2.08×10²

問 5 6 (種類)



[1]

問 1 ア 単純 イ 複合 ウ リン酸 エ 16 オ 18 カ 3

問2 グアニン, シトシン, チミン

問3 3,4,6

問4 アミラーゼ、グルコアミラーゼ (マルターゼ)

問5 6

[II]

- 問6 セッケン分子が、<u>内側に疎水性部分</u>を向けつつ<u>疎水性の物質</u>をとり囲むことで、<u>外</u> <u>側に親水性部分</u>を向けた<u>コロイド粒子</u>となるから。
- 問7 (59)(60)(61) 1.04 (kg) (62)(63)(64)(65) 1.15 × 10⁻¹ (kg)

問8 (66)(67)(68) 2.5 × 10¹ (kg)

問 9 (69) 4 (70) 3 (71) 6 (72) 5

※ 5. 問 6 以外で下線を引いてあるのは、公開後に修正をした箇所です。

